**＜感染性胃腸炎　感染対策チェックリスト＞**

保育施設

**１　発生状況の把握**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項目 | チェック | 備考 |
| □１つのクラスやフロアに限局せず、感染拡大しているか。 | 限局・拡大 |  |
| □有症状者のおむつ使用状況 | あり・なし |  |
| □園児は他のクラスやフロアを自由に行き来しているか。 | はい・いいえ |  |
| □園児は他クラスの園児とトイレを共有するか。 | はい・いいえ |  |
| □職員はクラスをまたいで保育等しているか。 | はい・いいえ |  |
| □有症状者のみが喫食したものや参加した行事はあるか。 | はい・いいえ |  |
| □調理従事者に有症状者はいるか。  （経口感染する感染症の場合の食品への二次汚染防止のため） | はい・いいえ |  |

**２　感染拡大防止の対応について**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項目 | チェック | 備考 |
| □当園中に新たに発症した園児は集団隔離してケアを行っている。 | はい・いいえ |  |
| □園児や職員は排泄・排泄処理後や飲食前の手洗いを徹底している。 | はい・いいえ |  |
| □手洗いの石けんは液体石けんである。  ※ノロウイルスに関しては、アルコール消毒剤は効きにくい為、液体石鹸と流水での手洗いを必ず行い、速乾性すり込み式手指消毒剤のみで済ませないこと。 | はい・いいえ |  |
| □職員、園児の手洗い後の手拭きをペーパータオルに切り替えた。  　または個人持ちのハンカチとしている。 | はい・いいえ | タオル共用はないか？ |
| □おむつ交換、嘔吐物処理、汚染されたリネン、嘔吐物で汚染された  食器の取り扱いの時には使い捨て手袋、マスク、防水性のエプロン  を使用している。 | はい・いいえ |  |
| □一処置一手袋、汚染したエプロンは他のケアの時に外している。 | はい・いいえ |  |
| □汚物はビニール袋等に密閉して移動している。 | はい・いいえ |  |
| □職員は嘔吐物処理の手順を確認し、共有している。  　換気、嘔吐物拭き取り後に消毒を行っている。 | はい・いいえ |  |
| □嘔吐物処理の塩素濃度は0.1％である。  ※水２ℓにペットボトルのキャップ８杯（40ml）【ハイター等５％濃度の場合】 | はい・いいえ |  |
| □トイレ便座やドアノブ、テーブル、おもちゃ等、皆が触れる部分を次亜塩素酸ナトリウム(塩素濃度0.02％)で消毒している。  ※水２ℓにペットボトルのキャップ２杯（約10ml）【ハイター等５％濃度の場合】 | はい・いいえ | ※感染拡大が終息したら平常時の清掃にもどす。 |
| □汚物の移動、保管場所、汚物処理場所は清潔区域(調理室や調乳室)と交わっていない。 | はい・いいえ |  |
| □調理従事者は感染者が発生しているクラスや汚染区域(汚物処理室等)等への出入りを控えている。 | はい・いいえ |  |
| □汚染されたオムツや服は施設では洗わず、保護者に返す場合は、ビニール袋に密閉して返却。消毒方法、処理時の使い捨て手袋、マスク、防水性のエプロン使用について情報提供を行っている。 | はい・いいえ |  |
| □今後予定している園行事はあるか。 | 有(　　　　　　　　　　)・無 | |
| □発症者(職員)への対応はどうしているか。※欠勤対応など |  | |

**３　関係機関との連携**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項目 | チェック | 備考 |
| □園医へ連絡、相談をしている。 | はい・いいえ |  |
| □保護者への連絡、説明を行い、園児の家庭での健康観察の協力要請や二次感染予防についての情報提供を行っている。 | はい・いいえ |  |
| □市町の社会福祉施設等担当部署への報告をした。 | はい・いいえ |  |

|  |
| --- |
| □職員へ発生状況を周知し、手技を確認し、対応の徹底を図る。  □嘔吐物処理や有症状者の身体ケアに関わった職員の健康状態を観察する。※最大潜伏４８時間  □症状回復後も１週間程度、長いと１ヵ月程ウイルス排出あるため、手洗いの徹底を継続すること。  □その他： |

**※保健所記入欄（指導事項等）**